

北見工業大学附属図書館

2001.7.1

碧空

あおぞら

第126号

The Kitami Institute of Technology Library Bulletin

目次

詩人検閲官の謎あるいはロシア研究の謎.....	1
平成13年度 図書館ガイダンス.....	2
新着図書紹介.....	4
インターネットコーナーの充実.....	5
メールによる購入希望図書の受付開始.....	5
CDプレイヤーの設置について	5
平成12年度 図書館統計.....	6
平成12年度 貸出ベスト50.....	8
お知らせ, 博士学位論文.....	9
本学教官の寄贈著書, 閲覧だより.....	10
会議報告, 人事.....	11
図書館開館・休館予定表.....	12

❁ 詩人検閲官の謎あるいはロシア研究の謎 ❁

阿 曾 正 浩

19世紀のロシアには、チュッチェフという不思議な詩人がいた。彼は、1803年にロシア貴族の次男として生まれ、他の貴族と同様に家庭内ではフランス語を使い、西欧文化を身につけていった。18才でモスクワ大学を卒業すると、外交官になり、15年間もミュンヘンで過ごした。この地で、彼は、ゲーテを愛読し、シュリングと知り合い、ハイネと交際して、西欧の事情に通じていった。1841年に私的な理由で外交官を解職されたのち、1858年に外国検閲委員会議長に就任してからは、終生その職に



とどまった。この間、300余編の叙情詩を残し

たが、祖国の文学界と交流がなかったため、詩人としてはあまり知られなかった。没後に象徴派の詩人たちに発掘されて、詩人の列に加えられたのである。

詩人にして検閲官？何たる形容矛盾！この世に、丸い三角形などあってよいものだろうか？この世で最も自由な魂を持つはずの詩人が、他人の魂を絞め殺す検閲官になるとは…。当初、私には、チュツェフという人間が理解できなかった。その後、彼の思想を知り、少しだけその謎は解けた。彼は、西欧には社会を統合する道徳的基礎が欠けているため、権力は物理的な抑圧手段（例えば検閲）を採用せざるをえず、それが反発を生み革命を引き起こすと考えた。これに対して、ロシアでは、ロシア正教により社会は自己犠牲と献身の精神で統合されており、

過度の抑圧はかえって専制の基礎を掘り崩すと信じた。事実、彼は、検閲の緩和に努め、国外に無検閲の出版所を開設することさえも提案していた。検閲緩和という自由主義的な政策で専制を擁護しようとしたのである。何とも逆説的な人である。

この逆説的な詩人検閲官は、次のような有名な警句を残している。「ロシアは理屈ではわからない、共通の尺度では測れない、ロシアには特別な気質がある、ロシアはただ信じるのみである」。なるほど、私ごときがいくらロシアを研究しても、わからないはずである。「調べれど、調べれど、我が理解深くならず、じっと手を見る」。

（あそ まさひろ 共通講座助教授）



平成13年度 図書館ガイダンス

〔学部〕

4月9日（月）、留学生1名を含む6学科420名の新入生と12名の編入生を迎えての学部学生対象の図書館ガイダンスが、午前10時50分より本学講堂において実施された。

図書館長の挨拶終了後、図書館の利用法をわかりやすく説明した手づくりのスライド「図書館を利用するにあたって」を約30分間上映し、ガイダンスを終了した。



図書館長挨拶

新入生・編入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。附属図書館のガイダンスにあたりまして、挨拶をさせていただきます。

皆さんの通っていた高校には、図書室があったと思います。大学では、附属図書館を置くことが法律で定められており、重要な位置付けがされています。それは、大学生の本分が「勉強すること」にある、という極めてあたりまえの理由によるものです。これから先、皆さんが勉強していく上で、何か困ったとき、図書館の本が、そして図書館という空間が、きっと役に立ってくれるはずです。

さて、図書館が皆さんの勉学に役立つことは容易に理解してもらえと思いますが、大学の附属図書館には、他にもいくつかの重要な機能があります。そのうちの一つに語学学習の場の提供があります。昨年、つくば大学の白川先生がノーベル化学賞を受賞されました。また、つい先日、野茂投手が、大リーグで2度目のノーヒット・ノーランを記録しました。このように、たくさんの日本人が、世界の中でいろいろな面で頑張っているわけです。これと同じ事は、全

世界の国々について言えます。つまり、今の時代は、全世界的規模であり、皆さんも理解しているように、英語が世界標準語になってきています。図書館では、皆さんの英語学習を支援するために、語学学習用のスペースを設けています。積極的に、そして有効に利用して下さい。

皆さんにとって、大学という場は、しっかりと勉強する場所であるばかりでなく、「豊かな人間性」を形成する場所でもあります。遊ぶことも必要です。そして、たくさん本を読むことも必要です。図書館には、工学部の専門書ばかりでなく、いろいろな分野の本があります。幅広く活用して自分を大きく成長させて下さい。

最後に、皆さんが有意義な学生生活を送られますことを、図書館職員一同願っていることをお伝えして、私の挨拶とします。



〔大学院〕

4月9日（月）、A105講義室において外国人留学生を含む134名の大学院博士課程（前期・後期）新生を対象に図書館ガイダンスを実施した。

図書館長の挨拶ののち、「大学院新生ガイダンス要綱」に沿って、これからの研究活動に必要な下記の事項について説明がなされた。

記

- (1) システムの現状とOPACの利用説明
- (2) 相互利用
- (3) オンライン情報検索サービス
- (4) ビデオ上映 『情報検索入門』

図書館長挨拶

大学院への御進学おめでとうございます。

さて、早速ですが、大学院生となられた皆さんに御願いたいことがあります。それは、是非、実験・研究に積極的に取り組み、立派な修士論文あるいは博士論文を仕上げさせていただきたい、ということです。皆さんも、大学を取り巻く最近の厳しい状況をご存じのことと思います。国立大学という組織が独立法人化される流れの中で、北見工業大学が、研究面において、その存在意義を主張できるかどうかは、どのくらい研究実績を積むことができたか、にかかっています。理工系大学では、博士及び修士課程の大学院学生の頑張りが活力の源であり、指導教官の先生はもちろんのこと、北見工業大学という組織自体も皆さんの頑張りに大きな期待を持っています。しっかりと研究に取り組み論文に仕上げることで、皆さんは大きな自信を持つことができます。自分を磨けると同時に、北見工大の発展にも大きく貢献できる、そんな風にと考えると大いにやりがいのあることだと感じますが、如何でしょうか。

図書館としましても、皆さんの研究の推進を支援するために、いろいろな努力を払っております。特に最近では、様々な研究分野について、大規模なデータベースの構築が進み、しかも容易にアクセスすることができます。研究を効率よく推進するためには、関連する情報を的確に掴むことが必要不可欠です。図書館の情報検索システムを有効に利用して、効率よく必要な情報を手に入れ、時間を大切に使うして下さい。また、実験・研究はいつも思い通りに行くものではなく、時には手詰まりになって苛々するときに出会います。そんなときには、図書館で気分転換するのも役に立ちます。うまく利用して下さい。

最後に、皆さんが、健康で有意義な大学院生活を送られますことを、図書館職員一同、心から希望していることをお伝えして、私の挨拶とさせていただきます。





新着図書紹介

『親と子』 岐阜県養老町編



岐阜県養老町に残る「親孝行」の昔話。その孝子伝説の心を受けて「親と子が心豊かにふれあうふるさと」を提唱する養老町が募集し、全国から寄せられた「愛・親と子」をテーマにした詩の入賞作品をまとめる。
(911.56/Y84)

『十二番目の天使』 オグ・マンディーノ



私の人生は素晴らしいものだった、ほんの二週間前まで。妻子を失い、絶望の果てに自殺を決心した私の命をそのとき、ある天使が救ってくれた…。全米が泣いたベストセラー小説。
(933/Ma43)

『永遠の森』 菅浩江

推理作家協会賞受賞作



地球の衛星軌道の上に浮かぶ巨大博物館「アポロイテ」そこには、世界のありとあらゆる美術品、動植物が収められている。その中で学芸員の田代孝弘は、芸術に関わる人々の思いに触れていく…。美をめぐる9つの物語。
(913.6/Su21)

『残光』 東直己

推理作家協会賞受賞作



多恵子が画面に写っていたのは、ほんの二秒だった。だが、健三にとってはそれで充分だった。画面の隅に現れて、憔悴しきった多恵子の表情は、彼女の息子が人質であることをはっきりと物語っていた。長編ハードボイルド。
(913.6/A99)

『月夜見』 増田みず子

伊藤整文学賞受賞作



87歳のママハハが倒れ、生家の古いアパートに管理人として移り住んだ、小説家の「私」。家族だけでなく他人、他人だけでなく家族。とけあうことのない孤独を抱いた女たちの人生が交わるときを描く。
(913.6/Ma66)

『片想い』 東野圭吾



帝都大アメフト部のOB西脇哲朗は、十年ぶりにかつての女子マネージャー日浦美月に再会し、ある「秘密」を告白される。過ぎ去った青春の日々を裏切るまいとする仲間たちを描くミステリー。
(913.6/H55)

インターネットコーナーの充実

1階閲覧室のインターネットコーナーに、デスクトップ型のパソコン5台とネットワークプリンター1台を新たに設置しましたので、自由に利用してください。

ただし、注意事項として以下のことを厳守してください。

勝手に設定を変えたり、ソフトのダウンロードはしないこと。

ゲーム等による専有はしないこと。

静かに利用すること。



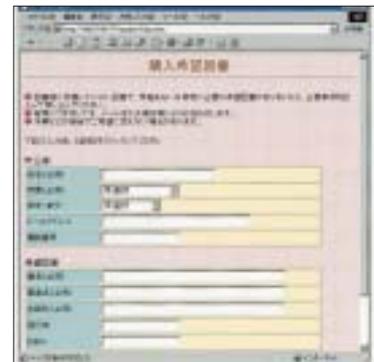
メールによる購入希望図書の受付開始

図書館では5月より、附属図書館ホームページ上でメールによる購入希望図書の受付を開始しました。（ただし、学内LANに接続されたパソコンからしか利用できません。）

図書館に所蔵していない図書で、学習あるいは研究に必要な希望図書がありましたら、申込フォームに必要事項を入力し、送信してください。

結果につきましては、メールまたは掲示等によりお知らせします。

なお、従来通りリクエストボックス「声」による受付も行っています。



CDプレイヤーの設置について

視聴覚室の語学演習ブースにCDプレイヤーを設置しました。日本語ジャーナル等に添付されたCDが利用できますので、大いに活用してください。（English Journalについても10月号からはCD付の発行となる予定です。）

また、音楽用CDも少しですが用意してありますので、リラックスしたい時にはどうぞ！

サービスカウンターでヘッドホンを借用の上、利用願います。

平成12年度 図書館統計

年間利用者数

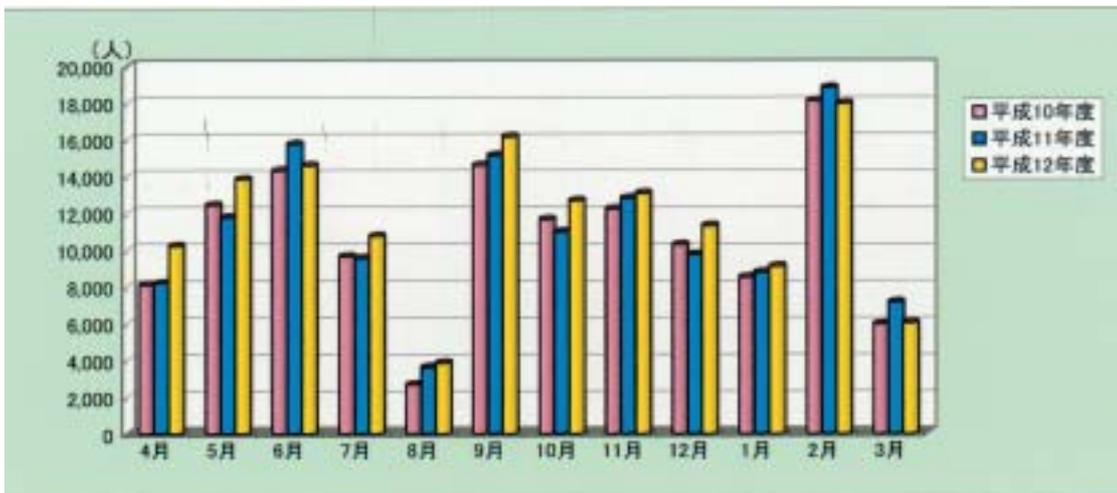
利用対象者数	2,495人 (内学生2,114)
開館日数	269日 (204)
入館者数	139,652人 (28,320)
一日平均入館者数	519人 (139)

()は時間外 内数

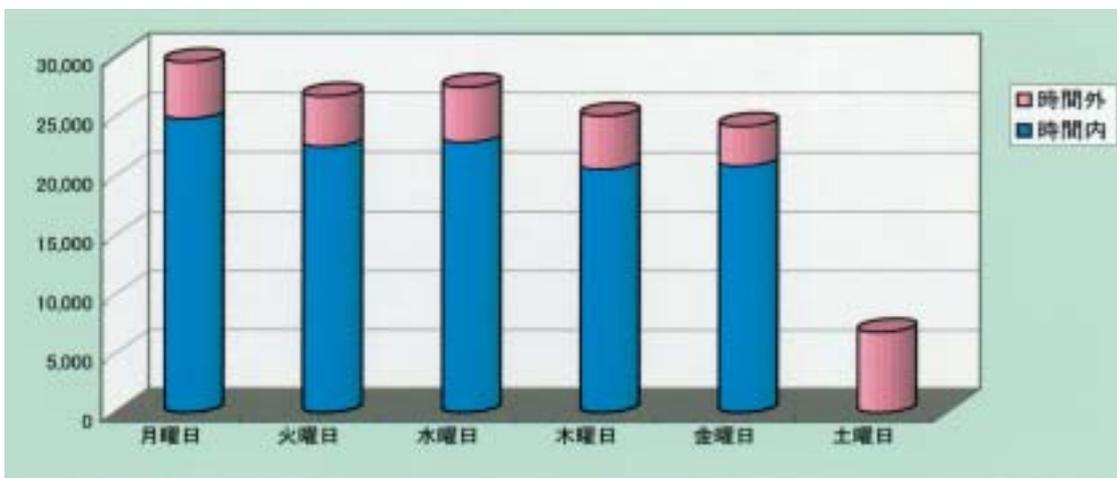
年間館外貸出冊数(開館日数269日)

	貸出人数	貸出冊数	一日平均貸出冊
学部学生 1年	1,349人	2,376冊	8.8冊
学部学生 2年	1,331	2,280	8.5
学部学生 3年	3,826	7,451	27.7
学部学生 4年	2,789	5,558	20.7
大学院博士過程	1,526	3,016	11.2
その他学生	118	197	0.7
教職員他	723	1,472	5.5
計	11,662	22,350	83.1

年度別入館者数



曜日別入館者数



年間図書・雑誌受入数

		購入	寄贈	計
図書	和書	2,536冊	161冊	2,697冊
	洋書	981	42	1,023
	計	3,517	203	3,720
雑誌	和雑誌	269種	650種	919種
	洋雑誌	307	74	381
	計	576	724	1,300

相互協力件数

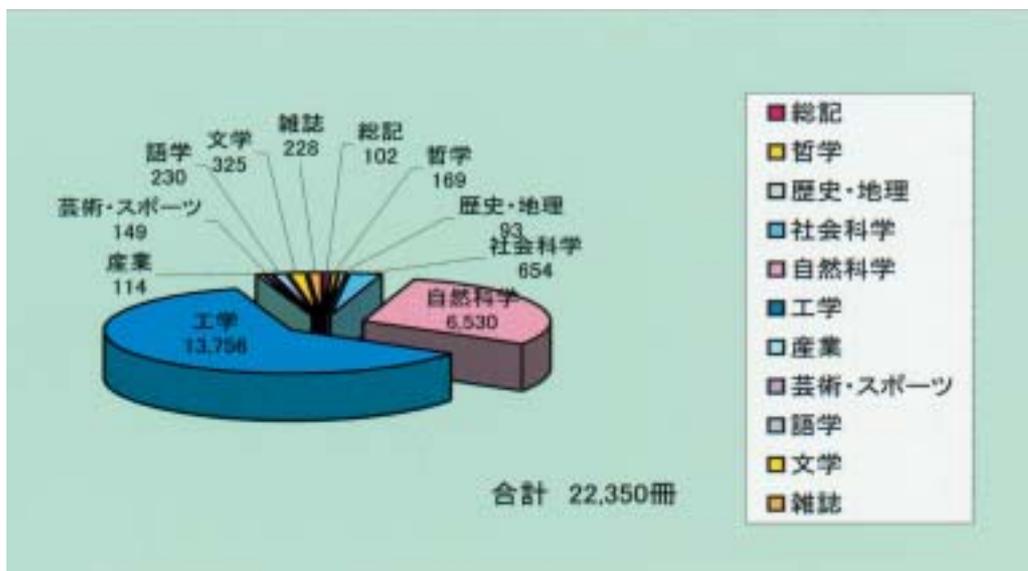
相互貸借	受付(貸出)	依頼(借受)
	61冊	38冊
文献複写	受付件数	依頼件数
	1,267件	902件

分類別蔵書冊数

(冊)

分類	000	100	200	300	400	500	600	700	800	900	計
	総記	哲学	歴史・地理	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術・スポーツ	語学	文学	
和書	5,500	4,500	5,202	15,137	31,524	53,061	2,996	4,442	3,561	9,038	134,961
	4.1%	3.3%	3.9%	11.2%	23.4%	39.3%	2.2%	3.3%	2.6%	6.7%	100%
洋書	1,078	1,439	520	1,106	13,786	14,819	109	172	1,898	2,052	36,979
	2.9%	3.9%	1.4%	3.0%	37.3%	40.1%	0.3%	0.5%	5.1%	5.5%	100%
計	6,578	5,939	5,722	16,243	45,310	67,880	3,105	4,614	5,459	11,090	171,940
	3.8%	3.5%	3.3%	9.4%	26.4%	39.5%	1.8%	2.7%	3.2%	6.4%	100%

分類別図書貸出冊数



平成12年度 貸出ベスト50



順位	回数	タイトル	著者	出版社	発行年	複本	分類	指定図書
1	75	微積分演習：全問精解	北山毅[ほか]著	聖文社	1976	20	413.3 K174	
2	45	IC設計-交換工学	柴田岩夫[ほか]著	森北出版	1990	5	542.1 Sh18	
3	44	光導波路解析	小柴正則著	朝倉書店	1990	19	548.58 Ko84	電子:林・平山
4	41	電気回路論演習	松元崇著	学献社	1969	10	541.1 Ma81	
5	40	切削加工（上）	臼井英治著	共立出版	1971	11	532.5 U95	
6	39	回路理論 演習	秋月影雄[ほか]著	培風館	1995	5	541.1 A38	
7	38	雪氷の構造と物性	前野紀一 黒田登志男	古今書院	1986	12	452.96 K159	土木:物理
8	37	初めて学ぶ電気回路計算法の完全研究	永田博義著	オーム社	1996	5	541.1 N23	
9	36	電気回路論	電気学会通信教育会著	電気学会	1970	7	541.1 D58	
10	35	図解による半導体デバイス基礎	玉井輝雄著	コロナ社	1995	5	549.8 Ta77	
11	34	溶液反応の化学	大滝仁志著	学会出版センター	1997	10	431.3 O83	化学:伊藤
12	33	物理化学（上）	P.W Atkins[著]	東京化学同人	1993	14	431 A94	化学:多田・伊藤
13	32	増幅回路の考え方	砂沢学著	オーム社	1992	5	549.82 To66	
14	32	有機化学（上）	John McMurry著	東京化学同人	1998	5	437 Mc50	
15	31	半導体工学：半導体物性の基礎	高橋清著	森北出版	1975	3	549.8 Ta33	
16	31	物理化学（下）	P.W Atkins[著]	東京化学同人	1993	14	431 A94	
17	30	浄水の技術：安全な飲み水をつくるために	丹保恵仁 小笠原鉦一著	技報堂出版	1992	19	519.16 Ta85	土木:海老江
18	30	基礎磁気工学	電気学会編	電気学会	1993	5	501.22 D58	
19	30	電子回路	丹野頼元著	森北出版	1988	5	549.3 Ta88	
20	29	電気音響工学概論	川村雅恭著	昭晃堂	1982	4	547.4 Ka95	
21	27	詳解電磁気学演習	後藤憲一[ほか]著	共立出版	1970	7	427.7 G72	
22	27	基礎日本語学習辞典	国際交流基金著	凡人社	1995	12	816.07 Ko51	
23	27	土の凍結:その理論と実際	土質工学会編	土質工学会	1994	5	511.208 D88	
24	26	半導体工学	John.N.Shive著	岩波書店	1961	6	549.8 Sh92	
25	26	演習微積分	寺田文行[ほか]著	サイエンス社	1979	19	413.3 Te43	情報:今井
26	25	7-11解析	大石進一著	岩波書店	1989	3	413.51 O33	情報数理
27	25	凍土の物理学	木下誠一編著	森北出版	1982	5	511.3 K146	
28	25	電子回路学	小郷寛,佐藤達男執筆	電気学会	1986	5	549.3 D58	
29	24	演習・微積分学	青木利夫 森川正共著	培風館	1978	5	413.3 A53	情報:山田
30	24	電子回路	桜庭一郎[ほか]著	森北出版	1986	5	549.3 Sa46	
31	23	マイクロ波工学：基礎と原理	中島将光著	森北出版	1995	5	548.16 N34	
32	23	スタンダード 微積分学演習	上見謙太郎[ほか]著	共立出版	1988	5	413.3 A19	
33	23	例題で学ぶ材料力学	西村尚編著	丸善	1987	4	501.32 N84	機械:小林
34	23	The UNIX super text（下）	于 旭[ほか]著	技報堂出版	1992	5	549.92 U11	
35	23	パワーエレクトロニクス基礎	電気学会編集	電気学会	1993	11	549 D58	電気:山田
36	22	制御理論演習	伊藤正美著	昭晃堂	1976	6	501.9 I89	
37	22	半導体デバイス：基礎理論とプロセス技術	S.M.ジュー著	産業図書	1997	3	549.8 Sz40	
38	22	現代制御工学	土谷武士 江上正共著	産業図書	1991	3	501.9 Ts32	
39	22	コンクリート標準示方書	土木学会コンクリート委員会編集	土木学会	1996	26	511.708 Ko75	土木:鮎田
40	22	知のモリ	小林康夫[ほか]著	東京大学出版会	1996	9	002 Ko12	土木:森
41	21	材料力学演習（1）	金沢武[ほか]著	培風館	1974	4	501.32 Z91	機械:小林
42	21	微積分学演習	栗田稔著	学術図書	1978	13	413.3 Ku67	
43	21	プログラミング言語C：ANSI規格準拠	B.W.カーニル[ほか]著	共立出版	1989	6	549.92 Ke57	
44	21	道路橋示方書・同解説	日本道路協会編	日本道路協会	1996	18	515 N77	土木:大島
45	21	例題で身につけるC言語入門	小館英貴[ほか]著	丸善	1996	2	549.92 Ko19	
46	20	電気音響振動学	西巻正郎著	コロナ社	1978	6	547.4 N84	
47	20	電気回路論	電気学会通信教育会著	電気学会	1970	7	541.1 D58	
48	20	これでわかったトランジスタ・IC回路の見方・考え方	高野政道著	啓学出版	1986	4	549.82 Ta47	
49	20	The UNIX super text（上）	于 旭[ほか]著	技報堂出版	1992	5	549.92 U11	
50	20	流体力学	日野幹男著	朝倉書店	1992	3	423.8 H61	

お 知 ら せ

🌱 J I S 配架場所の変更について

J I S (日本工業規格) の増加により, 配架してある書架が不足となった関係で, J I S 全収版のすべてを閲覧室参考図書コーナーの窓側の書架に移動しました。

🌱 日曜開館の試行実施 (予定) について

利用者サービスの向上を図ることを目的に, 平成13年10月～平成14年3月までの間, 日曜開館の試行を実施する予定です。詳細につきましては, 後日掲示等によりお知らせいたします。

博士学位論文

張 強 斌

- ・ Studies on the Determination of Ultra-Trace Amounts of Elements by Graphite Furnace Atomic Absorption Spectrometry with the Solid Sampling Technique 2001.3
433/Z93

井 口 傑 (システム工学専攻)

- ・ 停電コストを考慮した確率的火力発電機起動停止計画法に関する研究 2001.3
543.4/I24

佐 藤 孝 英 (システム工学専攻)

- ・ 鋼桁RC柱との半剛構造の弾塑性挙動に関する研究 2001.3
515/Sa85

舘 山 一 孝 (システム工学専攻)

- ・ マイクロ波リモートセンシングによる海水厚さの推定と海水変動に関する研究 2001.3
452.4/Ta94

野 村 圭 司 (システム工学専攻)

- ・ 平面波動場の解析に関する研究 2001.3
518/N95

魏 炳 乾 (システム工学専攻)

- ・ 河川移動床歪模型の相似則とその有効性に関する研究 2001.3
517/W55

ムリ モーホン ロイ (システム工学専攻)

- ・ Exhaust Odor Reduction in DI Diesel Engines-Effects of Engine Parameter, Fuel Property and Oxidation Catalyst 2001.3
533.45/R79

ラマン モハマト モンタール (システム工学専攻)

- ・ Photographic Study of Fuel Spray Behavior in the Combustion Chamber of a Small DI Diesel Engine 2001.3
533.45/R12

王 欣 (物質工学専攻)

- ・ 水分の熱的挙動を考慮した海洋コンクリートの凍害機構に関する研究 2001.3
511.7/W37

韓 希 壮 (物質工学専攻)

- ・ アルミニウム合金のレーザブルームに関する基礎的研究 2001.3
549.95/H27

* 上記資料は本館2階の特別資料室 (本学教官学位論文コーナー) に配架してあります。

本学教官の寄贈著書



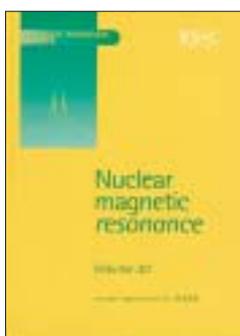
堀内淳一（化学工学部）

・微生物と環境保全（地球環境シリーズ）

微生物が地球環境問題にどのように大きく関与しているか、微生物機能を有効に活用した種々の生物処理法・新しい処理技術について、自然環境中での挙動の解明や微量有害汚染物質の微生物分解性などを解説する。

2001.3

519.508/C44



福井洋之（化学工学部）

・ Nuclear magnetic resonance (Volume 30)

Chapter 4	Theoretical Aspects of Spin-Spin Couplings	109
	<i>By H. Fukui and T. Baba</i>	
1	Introduction	109
2	Relativistic Calculation of Spin-Spin Couplings	109
3	Anisotropies in Spin-Spin Coupling Tensors	114
4	Basis Set and Correlation Dependences of Spin-Spin Couplings	117
5	Vicinal Proton-Proton Coupling Constants	118
6	Geometry Dependence of Spin-Spin Coupling Constants	120
7	Intermolecular Effects on Spin-Spin Couplings	122
8	Spin-Spin Coupling Constants in Hydrogen-Bonded Complexes	123
9	Through-Space Couplings	126
10	Conformational Analysis	126
11	References	127

2001

431.14/N99

* 上記資料は本館2階の特別資料室（本学教官寄贈著書コーナー）に配架してあります。

閲覧だより

夏季休業期間中は開館時間が下記の通りとなります。

夏季休業期間

平成13年7月18日（水）～
 平成13年8月31日（金）

開館時間

月～金曜日 9：00～17：00
 （土曜日は閉館）

臨時休館について

7月31日（火）から8月6日（月）
 までの期間、蔵書点検のため休館します。

他大学の図書館利用について

学生の皆さん、まもなく夏季休業に入りますが帰省先の大学図書館を利用する予定はありませんか？

他大学の図書館を利用するためには予め「利用許可願」が必要ですので、利用希望の方はサービスカウンター係員に申し込みください。

なお、院生及び教職員が他の国立大学図書館を利用する場合は、院生は学生証、教職員は身分証明書を提示してください。

.....
会 議 報 告
.....

平成13年4月から6月までの期間に次の会議が開かれました。

〔学 外〕

第33回国立大学図書館協議会北海道地区協議会

4月26日（木）
於 北海道教育大学

協議事項

- 1 電子ジャーナルの利用について
- 2 大学の管理運営体制における附属図書館長の位置付けと役割について
- 3 第48回国立大学図書館協議会総会について
 - (1) 文部科学大臣等に対しての特に要望すべき事項
 - (2) 総会の分科会で検討するための協議題
 - (3) 平成13年度地区選出の理事候補館

名及び所属部会

- (4) 平成13年度地区連絡館
- (5) 平成12年度地区協議会活動状況報告
- (6) ドキュメント・デリバリ・サービス運用案について
- 4 次期当番校について
- 5 その他

報告事項

- 1 電子ジャーナルタスクフォースについて
- 2 日米両国における学術情報アクセスの改善のための情報担当者会議について
- 3 平成13年度国立情報学研究所・北海道大

学附属図書館共催地域講習会の開催について

- 4 北海道大学附属図書館講演会について
- 5 その他



平成13年度国立大学附属図書館事務部課長会議

5月29日（火）
於 東京医科歯科大学

議 題

- 1 大学図書館の当面する諸問題について

第48回国立大学図書館協議会総会

6月27日（水）・28日（木）
於 北海道大学

〔学 内〕

平成13年度第1回附属図書館委員会

5月18日（金）

議 題

- 1 研究報告第33巻第1号の編集について
 - (1) 投稿論文の概要説明について
 - (2) 投稿論文の掲載の可否について
 - (3) 論文の掲載順序について
 - (4) 研究業績について
- 2 電子ジャーナルの契約について
- 3 その他

報告事項

- 1 平成12年度研究報告出版費の決算について
- 2 その他

.....
人 事
.....

下記のとおり人事異動がありました。
〔平成13年4月1日付け〕

附属図書館整理主任 船 木 敦 子
(共通講座より)

学生課学生企画係 黒 嶋 亮
(附属図書館整理係より)

図書館開館・休館予定表

(平成13年7月から平成13年12月まで)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	日	水 ●蔵書点検	土	月	木	土
2	月	木 ●蔵書点検	日	火	金	日
3	火	金 ●蔵書点検	月	水	土 ●文化の日	月
4	水	土 閉館	火	木	日	火
5	木	日	水	金	月	水
6	金	月 ●蔵書点検	木	土	火	木
7	土	火	金	日	水	金
8	日	水	土	月 ●体育の日	木	土
9	月	木	日	火	金	日
10	火	金	月	水	土	月
11	水	土 閉館	火	木	日	火
12	木	日	水	金	月	水
13	金	月	木	土	火	木
14	土	火	金	日	水	金
15	日	水	土 ●敬老の日	月	木	土
16	月	木	日	火	金	日
17	火	金	月	水	土	月
18	水	土 閉館	火	木	日	火
19	木	日	水	金	月	水
20	金 ●海の日	月	木	土	火	木
21	土 閉館	火	金	日	水	金
22	日	水	土	月	木	土 閉館
23	月	木	日 ●秋分の日	火	金 ●勤労感謝の日	日 ●天皇誕生日
24	火	金	月 ●振替休日	水	土	月 ●振替休日
25	水	土 閉館	火	木	日	火
26	木	日	水	金	月	水
27	金	月	木	土	火	木
28	土 閉館	火	金	日	水	金 ●年末休館
29	日	水	土	月	木	土 ●年末休館
30	月	木	日	火	金	日
31	火 ●蔵書点検	金		水		月 ●年末休館

:開館日(平 日) (開館時間 9:00~20:00)	:休 日
:開館日(土曜日) (開館時間 9:00~16:30)	:印 :休館日
:時間外開館停止(土曜日は閉館) (開館時間 9:00~17:00)	
学生 夏季休業期間 : 平成13年 7月18日(水)~平成13年8月31日(金)	
学生 冬季休業期間 : 平成13年12月21日(金)~平成14年1月18日(金)	

北見工業大学附属図書館報「碧空」第126号 平成13年7月1日
 編集発行 北見工業大学附属図書館 北見市公園町165番地(〒090-8507)
 電話(D.I) (0157)26-9177~9180
 FAX (0157)24-7709
 E-MAIL library@cc.kitami-it.ac.jp
 URL http://www.lib.kitami-it.ac.jp/